

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

「心で感じる大切さ」アートを日常に

— 画家 —
きしろ たまみ
木城 圭美さん

絵を見て、心が揺り動かされる・・・そんな体験をしたことがありますか？今回はそんなエネルギー溢れる絵を描く画家、木城さんのお話。三重県出身。大学院卒業と共に、ある出会いから栃木県にいらした木城さん。ご結婚を機に大田原市へ。現在、ヤギを飼いながら創作活動を行っています。



「太陽の舟」と題した作品。言葉にできないエネルギーが湧き出ているよう。

●「絵を描くことが好き」その一択で歩んできた人生

木城さん—「小さい頃から絵が好きで、絵を描くと周りから褒められていたんです。小学2年生くらいから絵描きになろうとっていて、小学校の文集に「将来の夢は画家」と描いていました。」

小学校高学年で絵画教室に通い始め、中学、高校でも美術一筋。その後、愛知県立芸術大学に進学。大学院卒業を控えた2006年、板室温泉大黒屋（※）が主催する現代アート公募展に入選する。

※板室温泉大黒屋…470年以上の歴史を誇る温泉旅館。「保養とアートの宿」をコンセプトに、館内外の至るところに現代アートが展示され、「湯治場」と「現代アートのある空間」が共生している。

●直感に従って栃木へ。

木城さん—「公募展の授賞式に行けず、別の日に入選作品の展示を見に大黒屋に行きました。その時に偶然、社長と話す機会があって。社長に「これからどうするの？」と聞かれて、「絵描きになりたいけど、どうやって生計を立てたらいいかわからない」と話したら、「うちで働きながら勉強すればいいじゃないか」と言われて。すぐに決断して、お話をいただいてから1週間後には栃木に来ていました。」



大田原に来て家族になったヤギたち。



水に色を流したかのような自然な動きが感じられる。
(作品の一部)

●大黒屋での経験から学んだもの

木城さん—「大黒屋では、いろんな作家さんが個展を開く時に関わらせてもらいました。すると、お客さまが素直な感想をスタッフである私に話してくれるんです。湯治としていらしている方も多いので、そういう方が求めるアートがどういうものなのか、どういう作品を手元に置きたいと思うのかを、お客さまから学びました。」



床に座って描くのが木城さん流。将棋のように、一手置くと、次にどんな色をのせるか見えるそう。

●「絵を見て涙が出る」人生初めての体験

木城さん「働いていた当時「癒しを感じる絵」を描きたいなと思っていました。この世に生まれる前のふるさどが描ければ、癒しになるんじゃないかなと。そんな中、オーストラリアの先住民でエミリー・ウングワレーという人の展示を東京に見に行ったんです。そこには私が描こうとしている、自分たちがどこから来たのかということを感じさせる宇宙が表現されていて…。人生で初めて、絵を見て涙が出たんです。私もこういう絵描きになりたいという方向性が決まりました。」

●こういう時代だからこそ「日常にアートを」

最近では小さな作品も手がけている木城さん。その理由について伺った。

木城さん「日々の生活に追われてしまうと、お金とか物質に惑わされるじゃないですか。だからこそ、目に見えない、物質ではないものってすごく大事だと思うんです。そういったものを、絵を見て思い出してもらえたらいいなと。小さなものでもいいから玄関などにあって、見たらホッとしたり…。作品と言うと、ギャラリーや美術館で見るイメージがありますが、私としては日常で感じてもらえる作品を描いていきたいです。」



最近では環境にやさしい「まっち絵の具」を使用。愛をテーマにした作品を描いている。

取材した方に聞きました!

あなたの好きな**大田原**

黒羽観光やな (黒羽向町)

住所:黒羽向町1639
Tel:0287-54-0087



鮎刺し

営業期間:11月15日まで

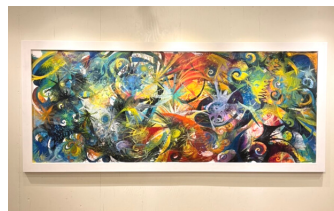


営業時間:10時~17時

那珂川の雰囲気が好きで、毎年訪れるという木城さん。おすすめは「鮎刺し」だそう。

木城圭美展 7月31日まで

2020年に行った公開制作の作品を展示



こちらのQRコードから左の作品が完成するまでの動画をご覧いただけます!

北風と太陽 美術室

住所:那須塩原市戸田708-1
Tel:0287-73-8700

※営業日等はお電話にてご確認ください

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課
大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階
Tel:0287-23-8794

Mail:salon@ohtawara-ijyu.jp

大田原の暮らし、地域情報など発信中!



掲載したい情報をお寄せください!

大田原に住みたい方がいます!
お持ちの空き家を活用しませんか?



「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。

詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課 Tel:0287-23-1916